



LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

特別整理期間(蔵書点検)のお知らせ

- 10/14(土) 図書フロアのみ休館 ※2・3階の図書フロアには立ち入りできません。
- 10/15(日) 全館休館 ※文化財事務室は除く
- 10/16(月) 全館休館 ※文化財事務室は除く

期間中はご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

● 蔵書点検とは？

書架に並んでいるすべての本のICタグやバーコードを読み取り、あるべき場所に本があるかどうか、行方不明になっている本はないかを確認する作業のことです。



14日・15日の本の返却は、1階エントランスの返却ボックスおよび国会通り側のブックポストをご利用いただけますが、本の返却処理が遅くなることをあらかじめご了承ください。

展示 PICK UP

2F パープルゾーン 三角台 ~11/26(日)

特別展 関東大震災100年  
「首都東京の復興ものがたり  
—未来へ繋ぐ100年の記憶—」 関連展示



関東大震災の発生から復興までの道のりを記録した資料や、今後起こりうる災害に備え、地震の知識や備蓄品など身を守る方法を学ぶ資料を展示します。

3F エレベーターホール・ガラスケース  
「新聞が記録した関東大震災のリアル」

ラジオもまだない時代に、活字も動力も通信交通網も失った帝都で、新聞は何を伝えたのか。千代田区教育委員会所蔵の関東大震災発生直後の新聞を紐解き、記事や告知欄から当時を読み解きます。また当時を知るための資料も紹介します。



100年前に発行された新聞

10月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン  
「都市開発と保存  
～日比谷通りの昔・今・これから～」(～11/17)

内幸町界隈では現在、再開発事業が行われています。本展示では、日比谷通り沿いの変遷を特に建物に注目して、都市開発に関する本も交えて紹介します。再開発で新しく作られるものや、文化財などの保存すべきもの、変わるものと変えないものに目を向けていただければと思います。

3F グリーンゾーン  
「大人だって遊びたい！」(～2024/1/12) NEW!

日々忙しく時間に追われがちな大人。そんな大人にとって「遊び」や「趣味」は毎日の生活を向上させ、心のゆとりを保つために必須の要素です。また世代を超えた交流ができるのも、「遊び」や「趣味」の醍醐味といえるでしょう。この展示をヒントに新しい楽しみを探してみたいですか。

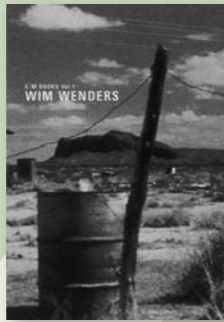
3F ブルーゾーン  
「新しいフランス」(～10/13)

1858年の国交樹立以降、日仏両国は様々な分野で深く影響しあってきました。交流165年目を迎える当年、「新しいフランス」と題し、9つのテーマからフランスに関する資料を前期・後期に分けてご紹介します。後期は政治、哲学、ファッション、映画、音楽の5テーマです。ぜひ、馴染みのなかったテーマの本も手に取って下さい。

2F エレベーターホール ~11/1(水)

HIBIYA PARK TERRACE 120 CINEMA TERRACE × 日比谷カレッジ  
その音楽とともに、旅へ。  
～ヴィム・ヴェンダース監督作品の  
サウンドトラックを聴く～ 関連展示

「東京国際映画祭2023」コンペティション部門の審査委員長に就任した、ドイツの名匠ヴィム・ヴェンダース氏は、自身のルーツに音楽があると公言するほど「音楽」と親和性の高い映画監督です。そんなヴェンダースの音楽をたどる旅を探るカレッジ(10/18)開催に関連し、関連資料や関連グッズを展示します。



『ヴィム・ヴェンダース』

- 樋口 泰人 監修
- エスクァイアマガジンジャパン 編
- カルチュア・パブリッシャーズ
- 1997年



『ドイツ・ニューシネマを読む』

- 瀬川 裕司、松山 文子、奥村 賢 編
- フィルムアート社
- 1992年

3F エレベーターホール ~10/27(金)

日比谷カレッジ  
「日本社会と睡眠」関連展示  
「あなたは眠れていますか？」



10月6日・27日に開催される日比谷カレッジ「日本社会と睡眠」にあわせて関連図書の展示を行っています。また、睡眠時間と労働時間の世界各国との比較データなどをパネルで紹介しています。個人の睡眠不足だけでなく、社会全体で改善していくために睡眠について学んでみませんか。

協力：眠りのライブラリー@カフェRinne

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別展 関東大震災100年  
首都東京の復興ものがたり  
—未来へ繋ぐ100年の記憶—

観覧無料

大正12(1923)年9月1日に発生した関東大震災では江戸から受け継いだ町並みが失われ、多くの人命が犠牲となりました。今回の展示では、「首都東京の復興」をテーマに都市が経験した震災復興の歴史を振り返ります。関東大震災から100年という節目の年に、当時の人々が何を感じ、どのように振舞ったのか、人々の記憶を紐解きながら彼らが直面した大災害と復興の物語をたどります。貴重な資料や写真、そして映像や模型などから、人々が未曾有の災害から力強く復興した姿を是非ご覧ください。



【展示構成】

絵はがき(丸の内ビルディング)

- 1章 関東大震災～そのとき失われた風景と暮らし～  
震災によって灰塵と化した江戸から継承された町並み。震災前後のまちの様子を見ていきます。
- 2章 復興を支えた新制度～バラックから建築防災まで～  
都市の耐震・不燃化を目指した新しい制度の元、区画整理から始まる都市の復興をたどります。
- 3章 復興建築の諸相～技術者と都市デザイン～  
4つの視点から復興する都市の様子を捉えます。  
【前期】復興小学校・復興橋梁(～10月15日(日))【後期】丸の内オフィス街・復興住宅(10月20日(金)～)
- 4章 帝都復興から始まる次の時代  
震災から6年余り、復興を遂げた新しい都市の姿と現在へ語り継がれる震災の記憶を紹介します。

学芸員による  
ギャラリートーク

- 日時: 10月6日(金)、10月27日(金)、11月10日(金) 各回18:30～(約30分)
- 定員: 先着20名
- 参加費無料

一青年の見た関東大震災

～旧結城藩・水野勝邦の震災アルバム～

- 日時: 9月30日(土) 14:00～15:30(13:30開場)
- 講師: 長谷川 裕(皇學館大学准教授)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ●参加費: 500円

その他の関連講座は中面をご覧ください→

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2023年 10月							2023年 11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。

